

年間授業計画

第四商業 高等学校（2学年用）

教科： 地歴公民科

科目 歴史総合

単位数： 2 単位

◆対象学年組：第2 学年 A 組～

E 組

◆使用教科書：（ 山川出版社 『わたしたちの歴史 日本から世界へ』 ）

◆教科 地歴公民科 の目標：

【知識及び技能】：現代世界の地域的特色と日本及び世界について理解し、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】：地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】：地理や歴史の諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

◆科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 近代日本と東アジア諸地域 【知識及び技能】 17世紀を通じて東アジアではどのような体制が確立されたかを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 商品作物と問屋制家内工業の発展との関係を多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、移民などに関する資料から、興味・関心をもったこと、疑問に思ったことを主体的に追究させる。	・指導事項・教材等 1. 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2. 江戸時代の生産・流通と諸改革	【知識・技能】 江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易などを基に、18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解している。 【思考・判断・表現】 18世紀とその前後の日本における経済活動の特徴、清などのアジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、移民などに関する資料から、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	○	○		7
B 近代ヨーロッパの諸革命と東アジアの動揺 【知識及び技能】 フランス革命とウィーン体制、アメリカ独立戦争やイギリス産業革命のもとで、政治体制はどのように変化していったか理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパのアジア進出と東アジアの伝統的な国際秩序へもたらした影響について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めさせる。	・指導事項・教材等 3. イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 4. フランス革命とウィーン体制 5. アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 6. アヘン戦争の衝撃と日本の開国	【知識・技能】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸をはじめアジアと欧米諸国の関係などを基に、18世紀とその前後の世界の政治と社会を理解している。 【思考・判断・表現】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸の政治に影響などに着目して、18世紀とその前後の世界全体の経済活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イギリス産業革命やアメリカ独立戦争が現代の社会にもたらす影響について追究し、学習上の課題を解決しようとしている。	○	○	○	8
定期考査	・指導事項・教材等 1. 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2. 江戸時代の生産・流通と諸改革 3. イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 4. フランス革命とウィーン体制 5. アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 6. アヘン戦争の衝撃と日本の開国		○	○		1
1 学期 C 近代欧州における国民国家の形成と日本の近代化 【知識及び技能】 19世紀後半のイギリス・フランス・イタリア・ドイツで起きた政治上の動きを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の過程と政府の政策と推進された理由を、多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 立憲国家の成立とその影響について追及し、学習上の課題を主体的に追究させる。	・指導事項・教材等 1. イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツ統一 2. 明治政府の諸改革 3. 日本のアジア外交と国境問題 4. 自由民権運動と大日本帝国憲法	【知識・技能】 19世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 【思考・判断・表現】 19世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	○	○	○	8
D 欧米列強の帝国主義とアジア各地の抵抗運動 【知識及び技能】 19世紀後半のイギリス・フランス・イタリア・ドイツで起きた政治上の動きを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の過程と政府の政策と推進された理由を、多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 立憲国家の成立とその影響について追及し、学習上の課題を主体的に追究させる。	・指導事項・教材等 5. 帝国主義の時代 6. 日清戦争後の東アジア 7. 日露戦争と東アジアの変動	【知識・技能】 19世紀から20世紀初頭のアジアの経済と社会を理解している。 【思考・判断・表現】 19世紀から20世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	8
定期考査	・指導事項・教材等 1. イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツ統一 2. 明治政府の諸改革 3. 日本のアジア外交と国境問題 4. 自由民権運動と大日本帝国憲法 5. 帝国主義の時代 6. 日清戦争後の東アジア 7. 日露戦争と東アジアの変動		○	○		1
E 第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から、興味・関心をもったこと主体的に追究させる。	・指導事項・教材等 1. 第一次世界大戦 2. ロシア革命とソ連の成立 3. ヴェルサイユ体制とワシントン体制 4. アジアの民族運動 5. 第一次世界大戦後の欧米諸国	【知識・技能】 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	10

2 学期	F 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 経済危機の背景と影響、第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 経済状態の悪化が諸国の対立を生み戦争につながる可能性があることを、現在の経済状態や国際関係と比較して主体的に追究させる。	・指導事項・教材等 6. 世界恐慌とファシズムの台頭 7. 日中戦争と戦時体制 8. 第二次世界大戦 9. 国際連合と冷戦 10. 日本占領と朝鮮戦争	【知識・技能】 国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 【思考・判断・表現】 経済危機の背景と影響、第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	8	
	定期考査	・指導事項・教材等 1. 第一次世界大戦 2. ロシア革命とソ連の成立 3. ヴェルサイユ体制とワシントン体制 4. アジアの民族運動 5. 第一次世界大戦後の欧米諸国 6. 世界恐慌とファシズムの台頭 7. 日中戦争と戦時体制 8. 第二次世界大戦 9. 国際連合と冷戦 10. 日本占領と朝鮮戦争		○	○		1	
3 学期	G 冷戦と脱植民地化 【知識及び技能】 国際政治の変容を理解している。また、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求させる。	・指導事項・教材等 1. 植民地の独立 2. 米ソ両陣営の動揺	【知識・技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うことができた。	○	○		9	
	H 多極化と現代社会 【知識及び技能】 冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求させる。	・指導事項・教材等 3. 石油危機と世界経済 4. 国際秩序の変容	【知識・技能】 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○		8	
	定期考査	・指導事項・教材等 1. 植民地の独立 2. 米ソ両陣営の動揺 3. 石油危機と世界経済 4. 国際秩序の変容		○	○		1	
							合計	70